

● 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金配当基準日	3月31日（期末配当） 9月30日（中間配当）
定時株主総会	毎年6月（基準日：3月31日）
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nisshinbo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL. 0120-232-711（通話料無料）
株式に関する お手続き	【証券会社で口座を開設されている株主様】 当該証券会社にご連絡ください。 【証券会社で口座を開設されていない株主様】 三菱UFJ信託銀行株式会社（特別口座管理機関）にご連絡ください。 TEL. 0120-244-479（通話料無料：24時間受付） インターネット http://www.tr.mufg.jp/daikou/

● IRカレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期末決算発表	定時株主総会	第1四半期決算発表				第2四半期決算発表				第3四半期決算発表	

Web Information

当社ホームページでは、当社のCM動画を公開している「ドッグシアター」をはじめ、IR情報も充実させ、豊富なインフォメーションを掲載しております。是非ご利用ください。

<http://www.nisshinbo.co.jp/>



Contents

トップインタビュー	P1	ニュース&トピックス	P8
日清紡グループのESG	P4	連結財務諸表の概要	P9
日清紡グループの事業概況	P5	会社・株式概要	P10
クローズアップ～こんなところに日清紡～	P7	株主様インフォメーション	巻末



グローバル社会に貢献する「環境・エネルギーカンパニー」グループとして企業価値の向上を目指します。

日清紡グループは、事業のグローバル化に適切に対応したグローバル・コンプライアンスの取り組みのもと、「環境・エネルギーカンパニー」グループとして、株主の皆様から一層の評価と信頼を得ることを目指しています。

代表取締役社長

河田 弘世

当第2四半期(中間期)の概況についてお聞かせ下さい。

2017年3月期第2四半期(中間期)における日清紡グループの連結業績は、売上高は、南部化成(株)の連結子会社化などにより精密機器事業は増収となりましたが、造船市況の低迷や公共事業の大型案件の出荷が一巡したことなどにより日本無線(株)の売上が減少したエレクトロニクス事業や、円高による為替換算の影響などによりTMD社の売上が減少したブレーキ事業が減収となったことなどにより、2,442億87百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

営業損益は、日本無線(株)の営業損失が拡大し、新日本無線

(株)が円高の影響により減益となるなど、エレクトロニクス事業の減益などにより22億98百万円の営業損失(前年同期比44億3百万円減)となり、のれん償却前営業利益は14億21百万円(前年同期比75.2%減)となりました。

経常利益は、営業損益の悪化などにより、5億63百万円(前年同期比89.7%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も8億34百万円(前年同期比66.7%減)となりました。

当期における取り組みについてお聞かせ下さい。

直近の事業上の課題としては、ブレーキ事業、特にTMD社の採算向上が急務です。同社では、継続的にグローバルでの商品供給体制再構築の検討を進めることや、銅規制への対応などにおいて日清紡グループの高い技術力を発揮することにより、明確な形で収益を向上させ、世界トップシェアの地位をより確かなものになりたいと考えています。

エレクトロニクス事業では、成長戦略に基づく拠点の再構築を進めてきましたが、日本無線(株)の事業所を東京都三鷹市から長野県長野市に移転したことに続き、埼玉県ふじみ野市に川越事業所を新設しました。同事業所は、基礎研究を担う研究所に加えて、主に地方自治体向けの行政・防災システムなどを手掛けるソリューション事業のシステムエンジニアリン

グ業務を担い、2016年9月から業務を開始しています。

また、こうした既存事業への投資と並行して、将来を見据えた成長戦略の一環としてグループの無線通信技術や電子部品生産技術を融合させ、ADAS(先進運転支援システム)ビジネスへ参入します。

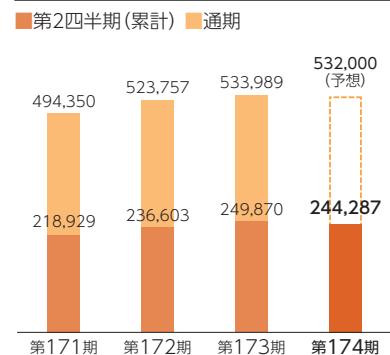
日清紡グループでは、全社をあげて開発・生産・流通・販売すべての面での最適化を図っています。「事業力・事業化力の強化」「キャッシュフロー経営の加速」を一層浸透させ、利益率や資本効率を重視したうえで規模の拡大を目指します。

また、IoTやAIに象徴される技術新時代に果敢に挑戦し、それらの新技術が高度に発展することにより、世界中のあらゆる人が質の高いサービスを受けられ、生き活きと快適に暮らすことのできる「超スマート社会」を支えるビジネスに取り組んでいきます。多様な技術や知見を融合し、「環境・エネルギーカンパニー」グループとして、社会に一層貢献できるような努力していきます。

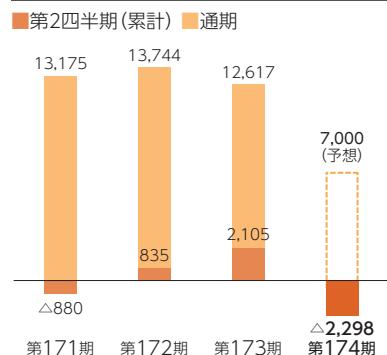
コーポレートガバナンスについてお聞かせ下さい。

透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定の遂行を目的として、コーポレートガバナンス・ポリシーを制定しました。攻守のバランスを取りながら、成長戦略に軸足を移した「攻めの

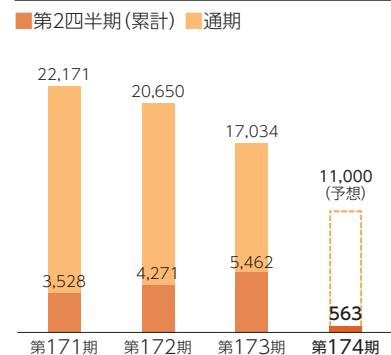
売上高 (単位:百万円)



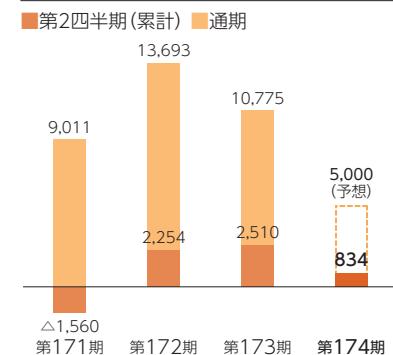
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位:百万円)



配当について

中間配当について
当期の中間配当金については下記のとおり決定いたしました。

- 中間配当金
…………… 1株につき金15円
- 中間配当の効力発生日
ならびに支払開始日
…………… 2016年12月5日

期	172期 2015年3月期	173期 2016年3月期	174期 2017年3月期
期末配当	7円50銭	15円	15円(予想)
中間配当	7円50銭	15円	15円(予想)
計	15円	30円	30円(予想)

ガバナンス」を一層発揮して、持続的な成長と企業価値向上に努めます。

当社は2016年の株主総会をもって、取締役を13名（うち社外取締役4名）から10名（うち社外取締役4名）に変更しました。社外取締役の構成比率の向上により、公正な経営判断



を加速させます。当社は、2006年に執行役員制を導入して以来、経営の監督責任と執行責任の明確化やスピーディーで透明性の高い意思決定プロセスの実現に向けて取り組んでいます。今般の施策はその取り組みを一段と進めることとなります。

あわせて、2017年3月期より、指名委員会と報酬委員会を任意機関として設置しました。社外取締役を構成員として迎え、役員選定や報酬体系の整備面でも経営の透明性を高めていきます。

株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 日清紡グループでは、2026年3月期に売上高1兆円、ROE12%達成の長期経営戦略目標を掲げています。長期経営戦略目標の達成に向けた投資や経営改革が成長の要であると考え、企業理念のグローバルな浸透とともに、車載関連など将来に向けた重要分野にも果敢に挑戦して、成長に軸足を置いた経営を加速させ、グループ一丸となって企業価値の向上を図ります。

株主の皆様には、今後とも日清紡グループへのご支援をどうかよろしく願っています。

用語解説

「銅規制」 … 2021年以降に銅含有量5%以上の摩擦材製品の販売や新車への組み付けを禁止し、2025年以降に銅含有量0.5%以上の摩擦材製品の販売や新車への組み付けを禁止する米国の環境規制のこと。

「ADAS」 … 「Advanced Driver Assistance System」の略で、車載カメラやレーダーなどにより周囲の状況を認識・判断し、事故を未然に回避する運転操作を行うなど、車両側がドライバーの安全運転を支援するシステムのこと。

「IoT」 … 「Internet of Things」の略で、あらゆる物がインターネットを通じてつながり相互に通信・制御する仕組みのこと。

「AI」 … 「Artificial Intelligence」の略で、人工知能のこと。IoTにより収集される膨大なデータの解析などにAIの活用が期待されている。

日清紡グループ初の女性の社外取締役 **藤野しのぶ** メッセージ

2015年から社外取締役となった藤野しのぶ氏から、日清紡グループの特徴とコーポレートガバナンスについてご説明いたします。



藤野しのぶ 経歴
 1987年4月 株式会社豊化システム入社
 2003年6月 カウンセラー事務所開業(現職)
 2015年6月 当社社外取締役(現職)

日清紡グループの特徴

日清紡グループは7つの事業セグメントを持っていますが、人々の生活に関わるという意味で、社会インフラとしての安定性や安全性が要求されます。こうした事業を110年近く継続してきたことに、このグループのすごみがあります。

また、安定の中でも果敢な経営判断に踏み切ることも特徴です。別業種の企業をグループに入れて文化的な融合にチャレンジしたり、自社の事業よりも大きな同業他社を買収したり、ここぞという判断は極めて大胆です。現在の河田社長も将来のビジョンが明確で、投資に対して積極的です。こうした経営陣が歴代出てくるところが、日清紡グループの強みと感じます。

日清紡グループのコーポレートガバナンスと社外取締役としての役割

当社取締役会は、本年6月には社内取締役6名、社外取締役4名という体制になり、また、任意機関として報酬委員会・指

名委員会が設置されていますので、日清紡グループの経営を監督する性格が強まるとともに、透明性の高いアカウンタブルな組織を目指していると感じます。

私は、本業のキャリアカウンセラーの視点から、日清紡グループは人財育成をもっともっと活発化させる必要があると感じます。そのためには、異なる事業の人財を積極的に交流させることにより、新しい事業を生み出し、社員に対する成長機会を提供することが重要だと思えます。

株主の皆様へのメッセージ

日清紡グループは2015年からダイバーシティの推進を掲げ、女性管理職の育成に取り組んでいます。買収した企業とのこれまでの取り組みや取締役会改革の推移などを見てみると、ダイバーシティも相当短期的に実現されるのではないのでしょうか。日清紡グループの経営改革を常に行い、環境の変化に対応していく面にも注目していただければと思います。

用語解説

「ESG」 … 「Environmental（環境）」、「Social（社会）」、「Governance（企業統治：ガバナンス）」の3つの頭文字をとったもので、事業を行うにあたり企業が配慮や責任を求められる重要課題のこと。

「キャリアカウンセラー」 … 企業や公的機関・教育機関において、相談者の能力や価値観の明確化などを通じて、望ましいキャリア開発や自己成長の支援をする専門家のこと。

「ダイバーシティ」 … 性別や国籍、障がいの有無、年齢や居住区域、個人の価値観や文化なども含め、多様性を持った人財を積極的に活かそうとする取り組みのこと。

日清紡グループの事業概況

～私たちの身近な暮らしの中で活躍している日清紡グループの製品～

エレクトロニクス事業

情報通信機器、電子部品、半導体製品など

31.1%

売上高構成比

売上高 **760億 17百万円** (前年同期比10.9%減)

営業利益 **△55億 65百万円** (前年同期比56億31百万円減)

日本無線(株)は海上機器事業が造船市況の低迷や海運市況の悪化により売上が減少し、新日本無線(株)は円高の影響を受けたため、減収となり営業損失を計上しました。

ブレーキ事業

摩擦材、アッセンブリ製品など

30.5%

売上高構成比

売上高 **745億 62百万円** (前年同期比11.3%減)

営業利益 **△4億 99百万円** (前年同期比1億82百万円減)

国内自動車販売の減少や海外子会社の円高による為替換算の影響に加え、TMD社買収等に伴うのれんの償却費負担により、減収となり営業損失を計上しました。

精密機器事業

プラスチック製品、精密部品加工など

12.3%

売上高構成比

売上高 **299億 43百万円** (前年同期比99.5%増)

営業利益 **4億 35百万円** (前年同期比72.1%増)

精密部品事業は自動車向け精密部品加工の受注が増加し、プラスチック製品事業は南部化成(株)が連結対象となったため、増収・増益となりました。

繊維事業

シャツ、テキスタイル、デニム、モビロンなど

11.0%

売上高構成比

売上高 **269億 79百万円** (前年同期比5.9%減)

営業利益 **8億 57百万円** (前年同期比3.5%減)

シャツ用・ユニフォーム用生地の売上減や東京シャツ(株)の夏物衣料の販売不振、海外子会社の円高による為替換算の影響などにより、減収・減益となりました。

化学品事業

断熱製品、機能化学品、燃料電池セパレータなど

1.7%

売上高構成比

売上高 **40億 65百万円** (前年同期比2.5%増)

営業利益 **5億 81百万円** (前年同期比98.2%増)

断熱製品のLNG(液化天然ガス)関連製品の売上増、機能化学品の粉状改質剤や水性架橋剤の好調などにより、増収・増益となりました。

不動産事業

宅地分譲、土地・建物賃貸など

1.7%

売上高構成比

売上高 **41億 7百万円** (前年同期比0.1%増)

営業利益 **29億 17百万円** (前年同期比5.3%増)

事業所跡地を活用した宅地分譲事業は順調に推移し、また土地・建物の賃貸事業は堅調に推移したため、増収・増益となりました。

紙製品事業

家庭紙、洋紙、紙加工品など

6.3%

売上高構成比

売上高 **154億 0百万円** (前年同期比0.4%減)

営業利益 **10億 53百万円** (前年同期比190.9%増)

家庭紙は円高による原燃料コストの低下、洋紙はファインペーパー関連製品など収益性の高い製品の堅調などにより、減収ながらも増益となりました。

プラスチック製品
(自動車向け)

EBS
(電子制御ブレーキシステム)

燃料電池セパレータ
(エネファーム)

シャツ・
モビロン
(ストッキング)

ティッシュペーパー・
トイレットペーパー

不動産

自動車用ブレーキ

「人の感性に訴えるブレーキ」を実現する日清紡グループの技術力

「走る」「曲がる」「止まる」という自動車の3つの機能のうち、日清紡グループのブレーキ事業では、「止まる」という機能に関わるブレーキ製品を提供しています。

確実に停止することはもちろんのこと、ブレーキから発生する振動や異音を最小限に抑え、ドライバーに安心して心地よい運転を提供するため、原料組成、振動・異音解析、実車試験などの技術向上に努めています。

また、世界有数のグローバル摩擦材メーカーとして、銅規制に対応した銅フリー摩擦材を開発し、量産の準備を進めるなど、高い技術力により環境問題にも貢献しています。

日清紡グループが提供する摩擦材・ブレーキ製品

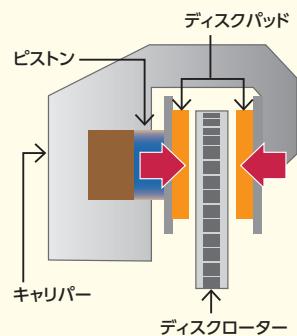
- 摩擦材製品 … ディスクパッド、ブレーキライニング
- ブレーキ製品 … ドラムブレーキ



ブレーキ豆知識

代表的なブレーキについて、その特徴と止まるメカニズムについてご紹介します。

ディスクブレーキ

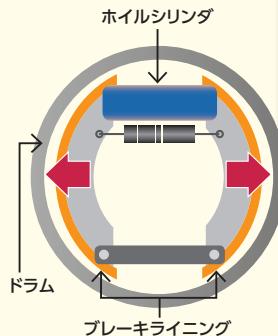


止まるメカニズム

車輪と一体化したディスクローター（円盤状の金属板）を2枚のディスクパッドで強く挟むことにより車輪の回転を止めます。

特徴 ブレーキ制動時の安定性・放熱性・応答性が良いことから、乗用車の前後輪、小型トラックの前輪で主に使用されています。

ドラムブレーキ



止まるメカニズム

車輪と一体化した円筒形のドラムに内側からブレーキライニングを押し付けることで車輪の回転を止めます。

特徴 ブレーキの制動力はディスクブレーキよりも大きいことから、乗用車の後輪や大型トラックの前後輪で主に使用されています。

『コットンフィール』シリーズ 発売20周年

日清紡ペーパー プロダクツ(株)は、1996年に販売を開始した「コットンフィール」シリーズが20周年を迎えたことに伴い、シリーズすべての商品をリニューアルしました。

「コットンフィール」は、厳選した木材パルプに綿花から採れるコットンリントールパルプを配合し、やさしいやわらかさとふんわりとした肌ざわりが特徴のロングセラー・シリーズです。

今回のリニューアルではブランドロゴを一新し、さらにやわらかさを追求しました。これからも“普段使いのプレミアムティッシュ”として、「コットンフィール」ブランドの浸透を目指します。



◀「コットンフィール」シリーズ

日本無線の川越事業所竣工

本年8月、日本無線(株)の新たな拠点として、埼玉県ふじみ野市に「川越事業所」が竣工しました。

エレクトロニクス事業の拠点再構築により新設された川越事業所は、都心に近い立地を活かし、防災システム



などのソリューション事業の中核拠点として、研究開発や自治体向けの提案・サポートを行います。

◀日本無線(株)川越事業所

株主優待制度を通じて「東日本大震災義援金」へ寄付

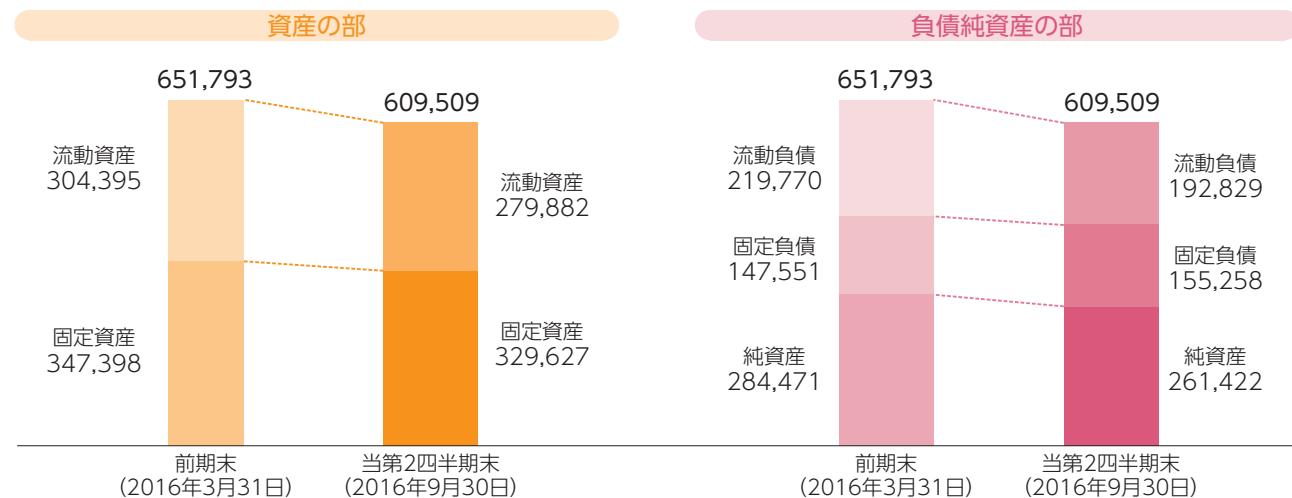
当社では、株主様と当社がともに行う社会貢献活動として、2011年より株主優待制度を通じた日本赤十字社「東日本大震災義援金」への寄付を実施しています。

本年度は123名の株主様のご賛同をいただき、これに当社および日清紡グループ従業員からの寄付を含めて100万円の寄付を行いました。

株主様には厚く御礼申しあげるとともに、引き続き社会貢献活動に取り組んでまいります。

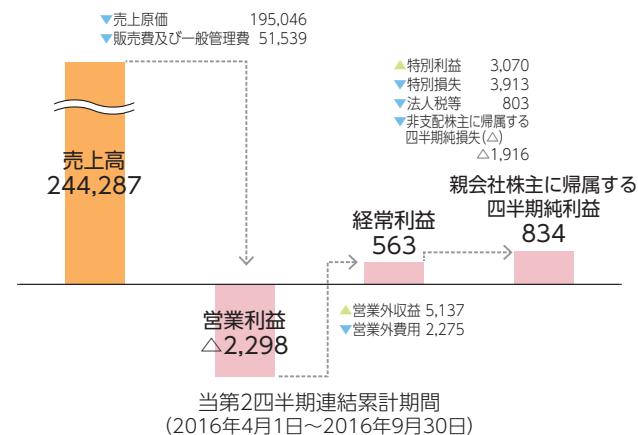
● 四半期連結貸借対照表の概要

単位：百万円(未満切捨)



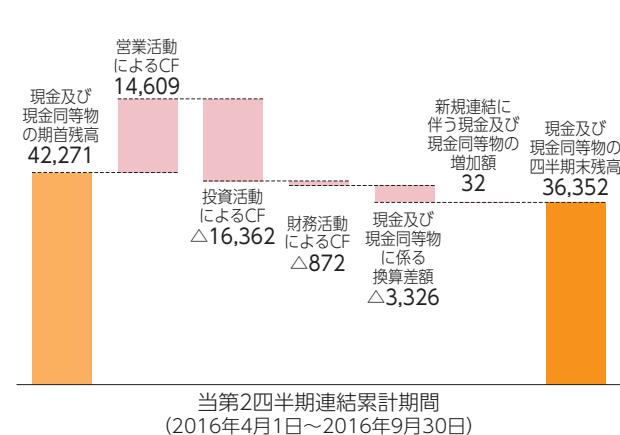
● 四半期連結損益計算書の概要

単位：百万円(未満切捨)



● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円(未満切捨)



● 会社概要 (2016年9月30日現在)

商号	日清紡ホールディングス株式会社 (Nisshinbo Holdings Inc.)
設立	1907(明治40)年2月5日
資本金	27,587百万円
従業員	189名(単体)、23,398名(連結)
本社	東京都中央区日本橋人形町2-31-11

● 主なグループ会社 (2016年9月30日現在)

グループ会社 144社(国内46社、海外98社)

- 連結子会社 117社
- 非連結子会社 10社(うち持分法適用会社1社)
- 関連会社 17社(うち持分法適用会社7社)

【エレクトロニクス事業】

日本無線(株)、新日本無線(株)、長野日本無線(株)、上田日本無線(株)

【ブレーキ事業】

日清紡ブレーキ(株)、TMD FRICTION GROUP S.A.、
日清紡オートモーティブマニュファクチャリング[アメリカ]、
日清紡ソンプーンオートモーティブ[タイ]、
セロン・オートモーティブコーポレーション[韓国]

【精密機器事業】

日清紡メカトロニクス(株)、南部化成(株)、日清紡精機広島(株)、
日清紡メカトロニクス(上海)、日清紡メカトロニクス(タイランド)

【化学品事業】

日清紡ケミカル(株)、(株)日新環境調査センター

【繊維事業】

日清紡テキスタイル(株)、東京シャツ(株)、ブラジル日清紡、
ニカワテキスタイルインダストリー、日清紡インドネシア

【紙製品事業】

日清紡ペーパー プロダクツ(株)、日清紡ポスタルケミカル(株)、
東海製紙工業(株)、大和紙工(株)

● 役員 (2016年9月30日現在)

取締役	取締役社長 *1	河田 正也
	取締役専務執行役員 *1	村上 雅洋
	取締役専務執行役員	土田 隆平
	取締役常務執行役員	西原 孝治
	取締役常務執行役員	小倉 良
	取締役常務執行役員	奥川 隆祥
	取締役 *2	秋山 智史
	取締役 *2	松田 昇
	取締役 *2	清水 啓典
	取締役 *2	藤野 しのぶ

*1は代表取締役 *2は社外取締役

監査役	常勤監査役	藤原 洋一
	常勤監査役	大本 巧
	監査役 *	川上 洋
	監査役 *	富田 俊彦

*は社外監査役

● 株式状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	371,755,000株
発行済株式総数	178,798,939株
株主数	13,354名

● 所有者別株式分布状況 (2016年9月30日現在)

